

## 第 20 回 固体飛跡検出器研究会 プログラム (2/24 版)

日時 2005 年 (平成 17 年) 2 月 28 日 (月) 10 : 00 ~ 17 : 40

場所 近畿大学本部キャンパス 11 月ホール 3 階小ホール(東大阪市)

2 月 28 日(月)

10 : 00-10 : 10 開会挨拶 鶴田隆雄 (近畿大学 原研)

【招待講演 1】 (座長 : 道家忠義) 10 : 10-10 : 45

- (1) "Bubble Detector -- A New Category of Solid State Nuclear Track Detectors"  
郭 士倫 (Shi-Lun Guo) (China Institute of Atomic Energy) (35 分)

【招待講演 2】 (座長 : 小倉絃一) 10 : 45-11 : 20

- (2) 「飛跡検出器研究会の創立時代の思いでと ECCO 計画のその後の進展」  
道家忠義 (早稲田大学理工総研) (35 分)

昼食・休憩 11 : 20-12 : 20

【セッション 1】 (座長 : 山内知也) 12 : 20-13 : 45

- (3) 「重イオン飛跡におけるエネルギー付与の構造」  
大野新一 (理論放射線研究所) (20 分)
- (4) 「治療用炭素線に対する CR-39 を使った水中における深部線量平均 LET 分布測定」  
河野良介 (放射線医学総合研究所) (10 分)
- (5) 「銀河宇宙線中の超鉄核成分の観測に向けた固体飛跡検出器の検討」  
小平 聡 (早稲田大学理工総研) (15 分)
- (6) 「共重合樹脂の重荷電粒子に対する飛跡生成感度の測定」  
本田和裕 (近畿大学理工学部) (15 分)
- (7) 「国際宇宙ステーション・ロシアモジュールにおける積算型放射線検出器の国際比較  
実験」 安田仲宏 (放射線医学総合研究所) (15 分)

【セッション 2】 (座長 : 藤井正美) 13 : 45 -15 : 00

- (8) 「イオン加速器を利用した CR-39 のイオン応答測定」  
石川一平 (大阪大学大学院工学研究科) (15 分)
- (9) 「CR-39 検出器中重イオントラック径方向サイズ評価」  
阿須賀拓 (神戸大学大学院自然科学研究科) (10 分)

- (10) 「ポリカーボネート中重イオントラックの損傷分布」  
榊谷隆志 (神戸大学大学院自然科学研究科) (10分)
- (11) 「CR-39 プラスチックの赤外線吸収スペクトル」  
泉健太郎 (神戸大学大学院自然科学研究科) (10分)
- (12) 「飛跡検出器における高エネルギー中性子用ラジエータ増感効果」  
今坂雄一 (神戸大学大学院自然科学研究科) (10分)
- (13) 「低分子ガス放出を伴うトラック形成機構」  
山内知也 (神戸大学海事科学部) (10分)

休憩 15:00-15:20

【セッション3】 (座長:小田啓二) 15:20-16:30

- (14) 「DAP および CR-39 検出器を使用した  $^{238}\text{U}$  の自発核分裂壊変定数  $\lambda_f$  の測定」  
吉岡哲 (近畿大学大学院総合理工学研究科, (株) 京都フィッシュントラック) (20分)
- (15) 「酸化チタンの三次元加工の現状」  
粟津浩一 (産業技術総合研究所) (20分)
- (16) 「フィッシュントラック法の保障措置環境試料分析への応用ーその3ー」  
李 致圭 (日本原子力研究所) (20分)

【セッション4】 (座長:安田仲宏) 16:30-17:40

- (17) 「CR-39 と AFM を用いた BNCT マイクロドシメトリの現状と展望」  
雨宮邦招 (東京大学大学院工学系研究科) (15分)
- (18) 「生分解性プラスチックによる飛跡検出の試み」  
藤井正美 (青森大学薬学部) (15分)
- (19) 「BP-1 ガラス飛跡検出器を用いた X線マルチコリメータの開発」  
中村正吾 (横浜国立大学大学院工学研究院) (15分)
- (20) 「金沈着現像を用いたフィラメントを生じない金微粒子からなる放射線飛跡」  
遠藤雄輔 (千葉大学工学部情報画像工学科) (20分)

18:00-20:00 懇親会 (近畿大学原子力研究所 原子炉施設管理棟)